

昨年、優勝候補だった大阪人間科学大学に大金星を挙げた天理大学と、まさかの敗戦を期した大阪人間科学大学の因縁の一戦。前半は天理大らしいプレイを存分に見せ、大人科をしのぐゲーム展開を見せたが、後半は大人科がペースをつかみ、昨年度関西女王の実力を見せつけて、78-62 で準決勝へ駒を進めた。

第1Q、スタート直後は大人科ペースで試合が進む。**#9** 大濱、**#17** 畠中を中心に安定したインサイドプレイで得点を重ねていく。対する天理大は**#赤松**の連続 3P を決めて応戦する。天理大は個々の能力を生かしたオフェンスを展開し、流れを引き寄せようとするが、大人科も強いディフェンスで対抗。拮抗したゲーム展開が続き、19-13 天理大リードで第1Q 終了。

第2Q、第1Q に引き続き、激しいゲーム展開となる。天理大は司令塔**#12** 坂口を中心に、大人科の堅い守りをこじ開けてゆく。大人科は高さと身体能力を生かしたプレイで、**#9** 大濱を得点源として攻めるが、天理大に追いつくことができない。残分 2、タイムアウト後、大人科は激しいプレイで徐々に点差を詰めていく。しかし天理大も流れを渡さず、35-30 天理大リードのまま前半を折り返す。

第3Q、大人科**#4** 近藤のインサイドシュートでゲームが開始する。スーパールーキー**#17** 畠中も力強いインサイドプレイを見せ、昨年度関西 1 位の実力を見せつける。天理大も流れを渡すまいとするが、残分 4、大人科が**#17** 畠中のバスケットカウントで逆転に成功する。そこから完全に流れをつかんだ大人科は、**#12** 北村が 3P を決めて突き放しにかかる。55-46 大人科リードで最終ピリオドへ。

第4Q、序盤は天理大が気迫のプレイを見せ、大人科から流れを取り戻そうと挑む。しかし、**#17** 畠中のフリースロー、**#5** 上畑の連続得点で大人科はペースを渡さない。残分 5、天理大はたまたまタイムアウトを要求。タイムアウト後、天理大は**#12** 坂口と**#7** 赤松が絶妙のコンビネーションを見せ得点する。天理大の猛攻もかなわず、大人科が得点を重ね、78-62 で準決勝へ駒を進めた。

記入者：富田 佳奈子